



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 財団法人日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 小崎繁昭
 編集責任者 蒲池正次、小郷正剛、下田勝二、
 山城元俊、及川雅寛、谷口薫、
 高山秋也
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

平成20年度第1回定期総会

平成 20 年 5 月 29 日、ホテルニューオータニ札幌において、平成 20 年度第 1 回定期総会が開催された。この総会において平成 19 年度事業が承認された。

追加議題として監事からの指摘事項として、空席の副会長(会長推薦枠)があらためて提案され認められた。これにより、副会長 3 名体制となった。会員からは、要望事項があり今後その要望を如何に事業に取り入れるかが課題であろう。あらたに公益認定を目指す日臨技にとって、従来運営の総括的な事業報告とも云える。

平成 19 年度事業報告<総括>

第 5 次医療制度改革も本格的に始動する中、日臨技役員においては、任期後半で事業計画書に盛り込んだ事業計画はほぼ達成できた。

重点事業として取り組んだ、臨床検査標準化事業は当初の参加施設数を大幅に上回る応募があり、都道府県技師会のご協力を得て年度内に年度報告書を配布した。この標準化事業は、本年 4 月からメタボリック健診が制度化され、開始する中で当会が主導的な立場でスタートした。臨床検査精度管理調査事業で積み重ねた組織力と連帯感が功を奏し、検査データは精度の高い評価を得ている。本事業は平成 20 年、21 年度までの 3 カ年計画で実施している事業である。

特別事業については、監理企画調整部の下に特別委員会を組織し、日臨技創立 55 周年、法人化 45 周年、法改正記念式典を併せて挙行了。5 年ごとに執り行われるこの記念すべき式典において、全国の会員 88 名が永年臨床検査技師として奉職した功績が大であるために厚生労働大臣表彰を受章した。

また、輸血業務一元化に関する研修会は、法改正記念事業として位置づけし、厚生労働省の後援と輸血学会の支援もあってこれまで 3 カ年間実施した。都道府県技師会が実施した研修会とあわせると、全国の会員 20,000 名以上が受講し実を上げているところである。

8 地区ジョイントフォーラムでは、世界エイズデーである 12 月 1 日を開始日として、1 週間にわたり全国 26 ヶ所の大型街頭ビジョンでエイズ予防啓発 CM を放映すると共にエイズ予防リーフレット等を配布した。都道府県技師会においては、健康まつり等で国民に対して衛生思想の普及啓発活動を主たる目的に、共催開催した。

技師のスキルアップを目的に立ち上げた日臨技の認定制度も緒についた。認定一般検査技師 (195 名)、認定心電技師 (115 名) が誕生した。その他の認定として認定臨床染色体遺伝子技師についても、倫理面と守秘義務から重要な認定と考えている。

生涯教育制度履修率の向上、学会開催のあり方等改革を進めた他、宮崎県技師会のご尽力により、医学検査学会を盛会裏に開催できた。

平成 20 年度は、公益認定申請、日韓交流 30 周年記念事業など大きな事業を抱えている。また、平成 21 年度は第 3 回 AAMLS 学会の開催も予定されている。

◆平成 20 年 3 月 15 日現在の登録会員数

- ◇ 会員登録数 49,078 名 (前年同期 48,539 名)
- ◇ 継続会員数 45,899 名 (前年同期 45,444 名)
- ◇ 新入会員数 3,179 名 (前年同期 3,149 名)

◆ 紙面の都合にて、詳細は<総会議案書>を参照のこと。質疑応答・要望については、次号に掲載予定。



- P01: 平成 20 年度第 1 回定期総会・事業報告<総括>
- P02: 執行体制一部変更・平成 20 年度代議員一覧
- P03: 平成 20 年度各種表彰受賞者・日韓代表者会議
- P04: 日韓協定締結 30 周年記念式典
- P05: 日韓交流功労者特別表彰・日韓共同声明
- P06: 第 57 回医学検査学会 in Sapporo -1

- P07: 第 57 回医学検査学会 in Sapporo -2
- P08: ひとくち英会話・日韓 FORUM
- P09: 地区短信<発芽から開花へ>・臨検小話=その4=
- P10: チョット気になるキーワード<指静脈マナー>
- P11: 地区短信<源氏物語千年紀>
- P12: ケンサ EXPO'09 テーマソング・編集室

◇ 会長推薦副会長承認される

第 1 回定期総会の追加議題として、役員推薦委員長から今村文章認定事業部常務理事が会長推薦枠の副会長として提案された。審議の結果、承認されたことを受け執行体制に一部修正が加えられることとなる。

認定事業部が学術事業部<渉外・各種認定>に統合され、以下のとおりの陣容の執行体制となる (○は常務理事)。

◇事務局

共済事業担当：山城光俊

◇組織制度部 (地区担当理事兼務)

- 五内川里子<定款・諸規定担当>、
- 森嶋祥之<公益事業担当>、及川雅寛、小野 静
梶山広美、谷口 薫、土居 修、長迫哲朗

◇財政経理部

- 下田勝二、高木義弘、及川雅寛

◇情報調査部

- 町田幸雄、梶山広美、谷口 薫、土居 修
百田浩志

◇学術事業部<生涯教育、検査研究部門、学会>

- 長迫哲朗、小野 静、直井芳文、中山亮一
森嶋祥之

◇学術事業部<渉外・各種認定>

- 米坂知昭、吉田勝彦、番場正人

◇出版事業部

- 蒲池正次、小郷正則

◇精度保障事業部

- 細萱茂美、小栗孝志、五内川里子、田中久晴

◇国際事業部

- 湯浅宗一、下田勝二、○小松京子<IFBLS 担当>

平成 20 年度 代議員一覧

| 都道府県 | 氏名 | 都道府県 | 氏名 |
|------|--------|------|--------|
| | 佐藤 和昭 | | 荻津 直通 |
| 北海道 | 高橋 智哉 | 愛知県 | 松本 祐之 |
| | 東 恭悟 | | 栗原 正喜 |
| 青森県 | 横山 慶一 | 三重県 | 小林 圭二 |
| 岩手県 | 伊藤 茂雄 | 滋賀県 | 瀬田 正憲 |
| 宮城県 | 立花 郁雄 | 京都府 | 今井 秀一 |
| 秋田県 | 菅原 博之 | | 今井 宣子 |
| 山形県 | 大沼 冲雄 | 大阪府 | 運天 政五郎 |
| 福島県 | 大花 昇 | | 竹浦 久司 |
| 茨城県 | 佐々木 伸夫 | 兵庫県 | 東塚 伸一 |
| 栃木県 | 小島 行雄 | | 浜上 明久 |
| 群馬県 | 深澤 恵治 | 奈良県 | 山本 慶和 |
| 埼玉県 | 砂川 進 | 和歌山県 | 村田 正吾 |
| | 津田 聡一郎 | 鳥取県 | 谷本 綾子 |
| | 前原 光江 | 島根県 | 柴田 宏 |
| 千葉県 | 森 重彦 | 岡山県 | 岡田 健 |
| | 眞々田 賢司 | | 山田 啓輔 |
| 東京都 | 岩井 行一 | 広島県 | 板羽 秀之 |
| | 長島 義男 | | 水野 誠士 |
| 東京都 | 出井 禎 | 山口県 | 三輪 久美子 |
| | 藤波 朋子 | 徳島県 | 永峰 康孝 |
| | 宮下 勉 | 香川県 | 野村 努 |
| 神奈川県 | 津田 友二 | 愛媛県 | 佐光 一平 |
| | 荒幡 篤 | 高知県 | 山地 ひろみ |
| | 畑中 一志 | | 上田 誠 |
| 新潟県 | 松田 和博 | 福岡県 | 杉島 節夫 |
| | 堀川 良則 | | 友松 哲夫 |
| 富山県 | 宮本 藤之 | 佐賀県 | 山田 隆司 |
| 石川県 | 酒向 良博 | 長崎県 | 南 惣一郎 |
| 福井県 | 伊藤 善祐 | 熊本県 | 瀧口 巖 |
| 山梨県 | 海野 勇蔵 | 大分県 | 佐藤 元恭 |
| 長野県 | 宮島 喜文 | 宮崎県 | 日野浦 雄之 |
| | 今井 真澄 | 鹿児島県 | 原田 佳代子 |
| 岐阜県 | 北村 顕 | 沖縄県 | 松川 正男 |
| 静岡県 | 泉 正和 | | |
| | 高島 吉則 | | 合計70名 |

おまたせしました！ 値下げ断行！
おなじみの”黒本” 2500 円
「新・輸血検査の実際」発売開始！

I. 輸血検査 に加え
 II. 輸血業務管理
 を加え、輸血業務の進め方、血液製剤の管理、副作用の把握と対応を分かりやすく解説しています。更に、症例集を掲載して、より実践的な内容に一新しました。また、動くテキストとして“凝集の見方”を CD-ROM にまとめました。



ぜひ、あなたのおそばに置いて下さい！

※ 平成 19 年度会員数により算出。前年に比べ、埼玉県及び東京都が 1 名増加し、茨城県が 1 名減員となり、全体では 1 名増加となっている。

平成 20 年度 各種表彰受賞者



永年職務精励賞



結核研究奨励賞



日韓交流功労賞

日臨技学術奨励賞 優秀演題賞



日臨技学術奨励賞 優秀論文賞



最優秀演題賞



日臨技有功賞 会長賞・功労賞・特別賞



最優秀論文賞



会長賞



日韓代表者会議・交流功労者会議

十年間続いた日韓交流が更に堅固なものとして、アジアをはじめ世界の臨床検査の発展に貢献されることとなる。尚、今年度二回目の日韓代表者会議は、六月十三日から韓国の忠清南道で開催され、日本からは六名の代表者会議出席者と三名の交流功労者会議出席者の九名が参加する予定。



今回の代表者会議は「日韓協定締結三十周年記念式典」に発表される「日韓共同声明」の合意が主たる議題となった。交流功労者会議は従来より代表者を側面から支援するということであった。一年ぶりの再会に各氏とも喜びの表情を隠しきれない笑みを浮かべ、終始和やかな会話となった。今回は、三十周年記念に花を添える「特別表彰」も重なり通常より多い参加であった。代表者会議において、日韓共同声明が合意され、両会出席者立会いのもと、小崎会長、宋会長が声明書に調印し堅い握手とともに声明書を交換した。この模様は、ビデオ収録されており、翌日行われた記念式典にて放映されることとなった。この調印により、三

日韓協定に基づく「日韓代表者会議」および「日韓交流功労者会議」が、平成二十年五月二十八日、ホテルニューオータニ札幌で開催された。今回の代表者会議は「日韓協定締結三十周年記念式典」に発表される「日韓共同声明」の合意が主たる議題となった。交流功労者会議は従来より代表者を側面から支援するということであった。一年ぶりの再会に各氏とも喜びの表情を隠しきれない笑みを浮かべ、終始和やかな会話となった。今回は、三十周年記念に花を添える「特別表彰」も重なり通常より多い参加であった。代表者会議において、日韓共同声明が合意され、両会出席者立会いのもと、小崎会長、宋会長が声明書に調印し堅い握手とともに声明書を交換した。この模様は、ビデオ収録されており、翌日行われた記念式典にて放映されることとなった。この調印により、三





挨拶

本日、ここに日韓両国技師会交流三十周年記念式典を挙げるにあたり、日本臨床衛生検査技師会を代表し一言ご挨拶申し上げます。

大韓臨床病理士協会との交流は一九八〇年五月、この札幌市で開催された第二十九回臨床衛生検査学会において、第一回日韓臨床検査技師代表者会議が行われました。その会議における両国技師会の合意に基づき、学会式典において日韓協定調印式が執り行われました。その後、その日韓協定に基づき、覚え書きが交わされ今日に至っております。



この間、両国技師会は全国学会、研修会等を通じて交流を深め、臨床検査技術、知識を高めると同時に、両国民の医療及び公衆衛生の向上に貢献し、臨床検査の高い専門知識を共有してきた役割は大きいものがあります。

両国技師会の抱える問題や先端医療技術、医療制度などの問題点、職能団体としての情報交換等を、胸襟を開いて幅広く意見交換をしてきたことが、今日の両国技師会の発展の礎となっております。両国技師会の諸先輩が築き上げた、友好と絆の輪を、今後もゆるぎないものとして広げてまいりたいと願っております。

また、日韓交流を側面から支援する組織として「日韓交流功労者会」が発足され、一九九九年五月、広島で開催された第四十八回日本医学検査学会において調印を行いました。互いの友好を補完する機能を担う意味で、交流功労者会には高い見地からご助言とご指導いただき今日に至っております。

私は、平成十二年釜山市において開催された大韓臨床病理士学会で講演をさせていただく機会を得、日本の医療保険支払い制度を紹介させていただきましたが、むしろ韓国側の先進的な医療保険制度に学ぶ部分が多く、勉強させられると同時に、学会参加者の真摯な聴講に感激して帰国いたしました。

学習意欲と組織の結束を重んじる大韓臨床病理士会は、第二十七回 JCS の学会を盛会裡に開催されると同時に、その学会において開催した、日韓ジョイントシンポジウムは、未来に向けた臨床検査領域の拡大と、診断治療に欠かせない臨床検査業務の可能性を追求する意義ある企画であり、日韓両国技師会の協力体制をゆるぎないものとして印象付けた学会でありました。改めて大韓臨床病理士会会員の皆様と宋学会長に深甚なる敬意を表する次第であります。

両国技師会三十年の交流は、日本・韓国の永い歴史から考えた場合、決して長い交流とはいえませんが、この日韓協定締結三十年の節目として、両国技師会の更なる発展と両国から発したメッセージが、アジア及び世界の臨床検査の進歩と限りない発展につながることを切に希望し、挨拶いたします。

二〇〇八年五月二十九日

社団法人 日本臨床衛生検査技師会会長 小崎 繁昭

昭和 55 年 5 月、第 29 回臨床衛生検査学会時に、札幌市において日本臨床衛生検査技師会が大韓臨床病理士協会と「日韓協定」を締結した。以来、30 年に亘り両国の臨床検査の発展と臨床検査技師の身分向上に向け、情報交換をはじめ両国で開催される学会における研鑽に励んできた。この度、協定締結の地「札幌市」において記念式典を挙行した。韓国からは、宋雲興 <Song Woon Heung> 会長をはじめ、令夫人、更に 21 名の皆様をお迎えした。この度は、記念として両国の交流功労者 4 名を特別表彰し、その労に報いるとともに、今後の両国の臨床検査の発展に貢献するべく共同声明に調印した。



式典で挨拶する大韓臨床病理士協会 宋雲興 会長

日韓交流功労者特別表彰



特別表彰受賞者を囲んで

この特別表彰は、日本側は日韓協定締結に尽力された、当時の佐藤乙一会長並びに日韓協定締結以来 30 年に亘り両国の交流に尽力された、現交流功労者会下杉彰男会長の両名、韓国側からは、同様に日韓交流に多大な貢献をされた、朴仁渙<Park In Hwan>、韓仲熙<Han Joong Hee>の両名である。

小崎会長より朴仁渙、韓仲熙の両氏に、宋会長より佐藤、下杉の両氏にそれぞれ表彰状をおくり、その功績に感謝の意を表した。

式典では、この特別表彰に続き、前日の日韓代表者会議で合意した「日韓共同声明」が披露された。ビデオ収録された、調印式の模様を放映し、小崎、宋両会長が声明書を読み上げ堅い握手で将来に向けて誓い合った。< 3 頁参照 >

式典に続き、記念の“日韓フォーラム”を開催した。< 8 頁参照 >

今回の記念式典には、来年開催される第 3 回 AAMLS 学会に向けて、アジア諸国からも各国会長が参加した。また、フォーラムの基調講演者として、前 IFBLS 会長 Lena Morgan 氏も参加した。学会終了後の 6 月 3 日、今年インドで開催される IFBLS 学会会長で現 IFBLS 評議員でもある Manindra Chaudhuri インド技師会長より

「日本がアジアの真のリーダーであることが、証明されたことに深く感銘した」との熱いメッセージが寄せられた。



共同声明

本日 ここ札幌市で開催された「日韓協定締結 30 周年記念式典」において 日韓両国技師会は 30 年にわたり協定書の遵守と遂行に努力してきたことを確認しました

今後は 両国技師会の更なる連携を強め国際的に貢献していく中で 臨床検査の発展と検査技師の地位の向上のために努力を重ねつつ 両国国民の健康の保全と環境衛生の向上に貢献するよう努力することを表明します

平成 20 年 5 月 29 日

社団法人日本臨床衛生検査技師会
会長 小崎 繁昭
社団法人大韓臨床病理士協会
会長 宋雲興

今回参加した海外の皆さんは、マレーシアから Woon Sung Thong 氏、フィリピンから Leila M. Florento 氏、タイ国から Rachana Santiyont 氏、インドから Manindra Chaudhuri 氏、インドネシアから Endang Hoyaranda 氏、台湾から Lei-Fa Chang、Chin-Ming Wang、Hen-Ming Lo、Chuan-Liang Kao の各氏、スウェーデンから Lena Morgan 氏であった。忙しい学会スケジュールの中、札幌冬季オリンピックの会場となった大倉山ジャンプで疲れを癒し帰国の途についた。



今回の記念事業は JICA、JIMTEF の後援をいただいているが、当日 JIMTEF 常務理事小西恵一郎氏、また、JICA 札幌国際センター所長 寛 克彦氏にご挨拶をいただき、日臨技公益事業としての国際貢献に評価いただいたことを申し添えたい。

【高田鉄也】

第 57 回日本医学検査学会 in Sapporo

式 辞

第五十七回日本医学検査学会開会式にご出席いただき、ありがとうございます。

本日は、ご多忙の中、北海道知事高橋はるみ様、札幌市長上田文雄様、北海道医師会会長長瀬清様、また韓国、台湾代表の方々をはじめ、多数のご臨席を賜り、開催できすことに、心より御礼申し上げます。

本学会の北海道開催は十五年ぶり、通算四回目となります。テーマは北海道の「道」、サブテーマを「フロンティアスピリットをふたたび」と掲げ企画して参りましたところ、

を超えたのは平成十二年以来のこと、会員の皆様にお礼申し上げます。

また、特に日常業務から離れた基礎研究に関する発表を呼びかけましたところ、会期二日目の明日、午前に、十数演題を集めたセッションを設けることができました。どうぞ活発な質疑であふれる発表となりますよう、ご協力をお願いいたします。

もうひとつの会場でありますアクセスサッポロでは展示会とポスター発表を行っています。展示会には医療関係各社から例年と変わらぬ申込みを受け、盛大に開催することができました。検査機器や試薬などに関する最新情報に触れ、コミュニケーションを図る場としても、ご利用いただきたく願っています。

また、開会式後の招待講演では旭山動物園の小菅先生から「旭山動物園の活性化」と題したご講演をお願いしています。旭山動物園はかつて閉園の危機を迎えたにも関わらず、多くの入園者から歓声があがるすばらしい動物園に躍進しています。私たちとは異なる仕事ですが、動物の楽しいお話だけでなく、本学会テーマのように、検査の専門職としての道を究め、臨床検査が直面する厳しい状況を乗り越えていくための、たくさんさんの取り組みや知見がいただけると幸いです。

そして、やや遅い時間帯となりますが、懇親会をサッポロビール園で開催します。ビール&ジンギスカンをバイキング、そして、夕張メロンやカニ、新鮮な野菜などが当たるお楽しみ抽選会も企画しております。どうぞ、時間の許す限り、北海道を大いに堪能していただきますよう、祈念致しております。

終わりにになりましたが、学会開催に当たり、関係各位からご支援・ご協力をいただきましたことに、厚くお礼申し上げます。開会のご挨拶と致します。ありがとうございます。

平成二十年五月三十日

第五十七回日本医学検査学会会長 佐藤和昭



リラ冷えの札幌に集う 3,500人



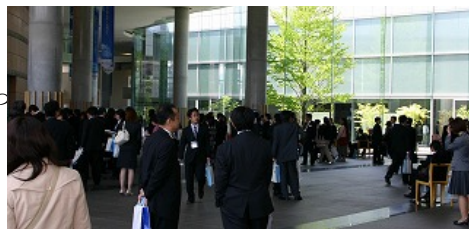
第 57 回医学検査学会が平成 20 年 5 月 30 日、31 日の両日札幌市において、札幌コンベンションセンターをメイン会場に開催された。担当は社団法人北海道臨床衛生検査技師会で、同会としては 4 回目の学会担当となった。北海道学会は土地柄人気のある学会であるが、例にもれず、学生 200 人を含み約 3,500 人の参加となった。5 月の札幌はライラックが咲き誇り、所謂“リラ冷え”

の季節である。今年は、いつもより気温が低く感じられたが、会場は熱気の感じられる学会となった。

演題数は 740 題をかぞえ、8 年ぶりの演題数であった。

今学会の特徴は、特別企画が多いことであったが、中でも一般演題に“基礎研究”の枠を設けたことである。臨床検査といえば、とかく診療・診断の補助的な概念であるが、医学の進歩には基礎研究が欠かせないことも事実であり、多忙な日常業務にあつて積極的に研究に従事している検査技師にとっては、最高の場面となったことは間違いない。

20 題もの発表がそれを裏付ける結果となったことは今後に向けて有意義であった。



学会を担当して

第57回日本医学検査学会を担当して

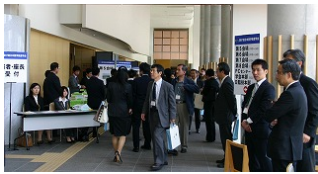
第 57 回日本医学検査学会実行委員長 高橋 智哉

北海道の澄み切った青空の下、第 57 回日本医学検査学会が北海道臨床衛生検査技師会担当で、5 月 30 日(金)~31 日(土)の両日、札幌コンベンションセンター・アクセスサッポロ・札幌市産業振興会館に於いて開催されました。今学会に多数ご参加を頂き有難うございました。無事終了したことを心から感謝致します。



さて、今学会はメイン会場と展示会場が離れているというハンデをどのように克服するかが一つのポイントでした。幸い予想以上の一般演題の応募があったため、ポスター演題を展示会場に振り分けることで会員の往來を盛んにするという考えに至り、この考えは的中し、ポスター会場は大盛況、また、展示会場にも多くの会員が足を運んで頂きました。シャトルバス 8 台の運行もお役に立ったようです。また、同一会場でなくても企画次第で集客はできることを改めて感じたところです。

もう一つのポイントは会場運営と進行でした。会場運営につきましては、参加して頂いた多くの会員からお褒めのお言葉を頂いておりホッとしております。進行に関しては多くの演題を進めることから、演者、座長の方々にご迷惑をおかけしたのではないかと思います、この場を借りましてお詫び申し上げます。



最後に、今学会では働く女性のために託児所を設けていました。小さいお子様が会場にいらしたことに気づきになりましたか。その姿を見て、しばし実務を忘れたのは私だけではない

でしょう。最後になりましたが、このような機会を与えて頂いた日臨技と全国の会員に感謝したいと思います。

旭山動物園の活性化



一般市民公開講演として行われた招待講演は、旭川市旭山動物園小菅正夫園長による「旭山動物園の活性化」である。

夏は 30 度を超え、冬は氷点下 25 度を下回る気候条件下の動物とともに生きる話であった。

招待講演

人はよく動物に例えて話をするが、氏は動物の立場にたって「人に例えて」話された。人も動物も同じで、他のものにはない、自分だけが持つ能力を発揮出来る環境を提供し、評価すれば、能力はますます高まっていくという話は感銘を受けた。何故か！映画「猿の惑星」のシーンが浮かんできた。地球規模での生きる術を教えてくださいました。

展示会に述べ17,000人

今回の展示発表会は、30 日、31 日の 2 日間、アクセス・サッポロにて 89 社 847 コマの出展で行われました。会期中の札幌は気温が低く肌寒い陽気で、しかも学会場からはシャトルバスで約 20 分の会場でしたが、ポスター発表が併設されたこともあり、2 日間の延べ入場者数 17,082 名と展示会場、多目的スペースは熱気ムンムンでした。大盛況のうちに終了することができ、本当にホッとしております。来場されました会



員の皆様、出版社、学会実行委員・実務委員、日臨技役員、ご協力いただいた関係者の皆

様に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【東恭吾】

ジンギスカン

第 57 回日本医学検査学会の懇親会が平成 20 年 5 月 30 日(金)19:30 からサッポロビール園で行われました。道内から選りすぐりの検査技師 7 名の和太鼓によるお出迎えで始まり、玄関入口で立ち止まる方もいらっしゃいました。参加者は海外からのお客様も含め総勢 800 名を超えており、北海道遺産の一つであるジンギスカン料理に酔っていました。抽選会は、1 階と 2 階に分かれ各景品の抽選を行い大盛り上がりでした。参加した方が帰り際に我々実行委員に対して「抽選に当たらなかったけど楽しかった。ありがとう!」「抽選会で若い人達が必至になって走り回っていた姿を見て感動しました」あるいは「良い懇親会だったね」等のお話を頂き、懇親会の成功を確信しました。参加者及びご協力頂いた皆様に深く感謝致します。



【浅沼康一】



ひとくち英会話

❖ **A blood test will show if you have anemia, infection or some problem with your blood.**

→ 血液検査では、貧血や感染症、その他の血液の異常がないかどうかわかります。

❖ **A urine test will show us if there is an infection, sugar or some problem with the kidneys.**

→ 尿検査では感染症や糖尿病・腎臓の異常などがないかどうか調べます。

❖ **A nasal smear test will show us if the discharge is from an infection or allergy.**

→ 鼻汁の細胞診は、感染症かアレルギーかによるものかを調べます。

❖ **A carotid doppler will show us if there is any blockage in your arteries.**

→ 頸動脈のドップラー検査は、動脈につまっているところがないかどうかを調べる検査です。

❖ **An ultrasound test show us a cross section of your**

→ 超音波の検査は.....の断面図をみることができます。

❖ **An ultrasound test of the gallbladder is the best way to detect gallstones.**

→ 胆嚢の超音波検査は胆石を調べるのにもっとも有効な方法です。

❖ **An ultrasonic examination uses ultrasound to see the cross-sectional size and check the movement of your heart.**

→ 心エコーは、超音波を使って心臓の大きさや動きを見る検査です。

❖ **An electrocardiogram will show us how well your heart is working.**

→ 心電図の検査は、心臓が正常に働いているかどうかを調べます。

❖ **An electrocardiogram makes a record of the electrical activity of the heart.**

→ 心電図の検査は心臓の電気的な活動を記録するものです。

❖ **Stool test show us there's any bleeding in your intestines.**

→ 糞便検査は腸に出血があるかどうかわかります。

❖ **Stool test is one way to check for colon and rectal problems such as polyps or cancer.**

→ 糞便検査は、大腸のポリープや癌などの病気がないかどうかを調べるための検査のひとつです。

❖ **Gynecological cytology examination will show us if there is cancer of the cervix.**

→ 婦人科の細胞診は子宮頸部に癌があるかどうかを調べます。

❖ 今回は、検査の説明に関する会話です。
❖ 多くの方から、リクエストいただきありがとうございます。検討させていただきます。

【小松京子】

日韓FORUM

平成 20 年 5 月 29 日(木)に日韓協定締結 30 周年事業の一環として、ホテルニューオータニ札幌 2F 『鶴の間』において『生活習慣病』をテーマに開催された。

韓国、日本の演者に先立ち、前 IFBLS 会長であり、長く IFBLS で役員活動を経験された、

Lena Morgan 氏が基調講演をされた。

同氏は、スウェーデン技師前副会長、現在はスウェーデン技師会のアドバイザーで、20 年以上微生物分野で活躍され、POCT にも関わっていた経験を基に話された。スウェーデンにおける POCT の精度保障と生活習慣病に関する講演であったが、スウェーデンでは、POCT は複数の業種の者が行っており、患者自身でも行うこともあるということで、検査技師はそれらのデータ管理や技術指導などを行う立場を確保することを強調された。



次いで、韓国から、柳光鉉 <Kwang-Hyun Ryu>氏が

『The Connectivity of Point Care Blood Glucose Monitoring System』を、

朴鎮健 <Jin-Keon Park >氏が

『The cause of Common Korean disease and its preventive』を講演された。

日本の代表として、日臨技精度保障事業部細萱茂美<Shigemichi Hosogaya>常務理事が『生活習慣病の予防を目的とする新しい検診制度と臨床検査データの標準化』を講演した。

各国それぞれ特徴ある講演であり、盛況に終了した。

また、本 FORUM の内容は、ホームページにて動画配信する予定となっている。

今回のスピーチは Lena Morgan 氏と細萱茂美常務理事は英語であり、韓国の両名は韓国語で講演したが、スライドは全て英語であった。臨床検査の世界も国際化が進んでおり、語学学習の必要性が感じられた次第である。

【小松京子】

近畿地区短信

発芽から開花へ！

— 性教育チームの取り組み —

中丁 栄美子 (福井県臨床検査技師会)

平成 19 年、福井県臨床検査技師会では糖尿病療養指導・感染症コントロール・栄養サポート・性教育の 4 チームが発足し活動を開始した。その中で、性教育チームは福井県内の小学校 4 校・高等学校 1 校 (計 5 校) において性教育・エイズ予防啓発活動を行ってきた。

この活動のきっかけは、先進国である日本の HIV/エイズ患者数が右肩上がりに増加している現状を知り、私たち臨床検査技師の知識を地域に役立てたいという思いからであった。しかし、思いだけでは何も始まらない。この思いを誰かに伝え、行動しなければ…。

行動の始まりは、平成 16 年に福井県内の HIV/エイズ予防啓発活動に力を入れている市民活動団体からの高等学校 2 校における講演依頼であった。不慣れた講演ではあったが、



高校生の微かな反応を感じた。また、同校から 3 年連続で講演依頼があり、臨床検査技師として地域への関わりに少しの確信を持つことができた。そのような中、平成 18 年に福井県で開催された第 46 回近畿医学検査学会の公開講演「HIV 感染の現状と予防対策に向けて」を福井県教育庁へ紹介し、県内の各学校に案内状を配布した。その後、福井県教育庁から当技師会に性教育活動への参画を依頼され、現在に至っている。

福井県の性教育活動には、福井県助産師会・産婦人科医師会・福井県臨床検査技師会の 3 団体が参画している。平成 19 年は、「性教育の指導に関する実践推進事業」として 3 団体による学校現場での性教育活動が展開された。性教育チームは、福井県教育庁並びに学校の教諭と打ち合わせを重ね、5 校で講演を行った。児童、生徒、教諭、保護者の反応は様々であったが、地域社会の連携が必要となっている現代において臨床検査技師が持っている専門知識と経験を活かすことができたと思う。今後も教育現場と医療がチームで取り組むことにより、さらに充実した性教育活動ができるのではないだろうか。



これまでの活動を通して、思いという“種”に行動という人の支えや真心によって性教育チームの“花”が咲いたと感謝している。今年度、性教育チームは福井県性教育普及推進委員会の一員となり、さらにパワーアップして活動に取り組んでいきたい。

投稿 < 臨検小話 = その 4 = >

新屋博明 (エムティー法務研究会)

1. はじめに

何気なく某テレビ CM を見ていたら、“ALA” が宣伝文句として画面を飾っていたので「あらっ (ALA) ?」と思ったら、やはりアミノレブリン酸 (aminolevulinic acid : ALA) のことでしたので、この CM を見て思い出した δ -ALA (デルターアミノレブリン酸) について少々述べてみたいと思います。

◆ いわゆる鉛健診における尿中 δ -ALA 測定の法的根拠について

①法律：労働安全衛生法 (昭和 47 年 6 月 8 日法律第 57 号) 第 66 条 2 項

2 項：事業者は、有害な業務で、政令で定めるものに従事する労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師による特別の項目についての健康診断を行わなければならない。有害な業務で、政令で定めるものに従事させたことのある労働者で、現に使用しているものについても、同様とする。

②政令：労働安全衛生法施行令 (昭和 47 年 8 月 19 日政令第 318 号) 第 22 条 1 項 4 号

1 項：法第 66 条第 2 項前段の政令で定める有害な業務は、次のとおりとする。

4 号：別表第四に掲げる鉛業務 (遠隔操作によって行う隔離室におけるものを除く。)

③省令：鉛中毒予防規則 (昭和 47 年 9 月 30 日労働省令第 37 号) 第 53 条 1 項 5 号

1 項：事業者は、令第 22 条第 1 項第 4 号に掲げる業務に常時従事する労働者に対し、雇入れの際、当該業務への配置替えの際及びその後 6 月 (令別表第 4 第 17 号及び第 1 条第 5 号リからルまでに掲げる鉛業務又はこれらの業務を行う作業場所における清掃の業務に従事する労働者に対しては、1 年) 以内ごとに 1 回、定期的に、次の項目について、医師による健康診断を行わなければならない。

5 号：尿中のデルターアミノレブリン酸の量の検査

2. 生物学的モニタリングと δ -ALA (デルターアミノレブリン酸)

平成元年 10 月 1 日から施行された改正鉛中毒予防規則の注目点は、健康診断 (いわゆる鉛健診) に生物学的モニタリング biological monitoring を導入したことです。これにより尿中の δ -ALA 量は生体影響の指標として、血液中の鉛量は暴露の指標として鉛健診に取り入れられました。<◆>に鉛健診における δ -ALA 測定の法的根拠を示しました。安衛法 (労働安全衛生法) や鉛則 (鉛中毒予防規則) に「事業者は～行わなければならない」と謳われているので、鉛健診の実施義務を負っているのは事業者です。しかし、それは当然「医師による健康診断」でなければならないので、事業者は鉛健診を健診機関 (医療機関) に委ねることになります。なお、法令上の用語としては「 δ -ALA」ではなく「デルターアミノレブリン酸」が用いられています。

3. おわりに

私は、生物学的モニタリングの導入を決めた鉛則の改正は、単なる改正ではなく、画期的な改正だったと思います。

チョット気になるキーワード

指静脈マネー

指静脈マネーとは、クレジット決済の本人認証に指静脈認証技術を利用する決済サービスのこと。企業内や大規模店舗内、地域内などにおいて、クレジットカードの代わりに指だけでクレジット決済処理を実現する。このサービスを導入すれば、精算時にレジにある指静脈認証装置に指をかざすだけで、あらかじめ認証システムに登録されている指静脈パターンと照合され、本人確認とクレジット決済処理をカードレスで行うことができるようになるのだ。

すでに「指静脈マネー」実証実験に成功！

指静脈マネーの実用化に向けて、日立製作所では実証実験を進めている。同社では 2007 年 9 月 1 日から 3 ヶ月間、情報・通信システム関連の開発部門が集まる「日立システムプラザ新川崎」の社員食堂と売店で、従業員約 240 名を対象に指静脈マネーの実証実験を実施した。

日立では、日立キャピタルが発行するクレジットカード付き社員証により、社員食堂や売店での決済処理を行っているが、今回の実験では、この決済処理システムに指静脈認証装置が付加された。指静脈マネーを利用するには、あらかじめ指静脈のパターン情報とクレジットカード付き社員証をシステムに登録しておく。この実験に参加した従業員たちは指だけのクレジット決済がいかかに便利であるかを実感できたという。

指静脈認証の仕組みと特長

ここで、指静脈マネーを支えている指静脈認証の仕組みについて、その概要を説明しておこう。指静脈認証技術とは、近赤外線を指に透過して得られる指の静脈パターンの画像によって個人認証を行う生体認証技術の 1 つである。血液中のヘモグロビンは近赤外線を吸収するため、指の静脈が影となって撮影できるのである。そして、この指画像から静脈の存在する部分を、人工知能手法を使って鮮明な構造パターンとして検出し、あらかじめ登録した静脈の構造パターンとマッチングさせて個人認証を行う仕組みになっている。

具体的には、指の部位ごとにきめ細かく透過光量を調節することで、血管の局所的な変動があっても安定した静脈パターンを抽出できる。また、指の位置ずれ、傾きなど、指の置き方の違いを認識して指画像を補正したり、指の輪郭抽出結果に基づいて回転補正したりするなどして、高い認証精度を実現している。

指静脈認証技術のおもな特長を整理すると以下のようになる。

○ユーザビリティに優れている

高精度・高速で個人を認証できる、指を使うことで登録・操作が簡単

○変化要因の影響を受けにくい

指の表皮の多少の傷や汚れに強い、気温や湿度に影響されない、指の複数登録で第 1 指が利用不可能な時は別の指で補完可能

○非接触である

利用者の心理的抵抗感を緩和できる、生体情報を取得されにくい、装置センサ部の汚れや損傷が少ない

○セキュリティに優れている

認証情報が生体内部にあるので生体認証の中では特に偽造に強い

指静脈マネーの想定マーケット

指静脈マネーの実用化はこれからだが、指静脈認証技術自体はすでに実用化が始まっている。たとえば、ATM 認証では IC キャッシュカードと連携した形で、ゆうちょ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、横浜銀行など数多くの金融機関で導入されており、金融機関の本人認証におけるデファクトスタンダードになりつつある。また、オフィスビルからの情報漏洩防止や、マンションなどの不正侵入防止対策にも使われ始めていて、IC カードや監視カメラとの連携も可能だ。もちろん、オフィス PC からの情報漏洩や、なりすましによる不正アクセス防止など、IT セキュリティ分野でも利用されている。

こうした指静脈認証技術の普及を追い風にしながら、指静脈マネーは以下のような場所での実用化が検討されている。

○カードを持ち歩かない場所

(持つことができない場所、持つと邪魔な場所、屋内の移動などで持つことを意識しない場所)

具体的には、アミューズメント施設、スポーツクラブ、ゴルフ場、ホテル、社内施設(食堂・売店)などが考えられる。たとえばプールや温泉を利用しながら、そのままの姿で指 1 本だけでドリンクなどを購入できたら便利だろう。

○決済を多くする場所

(買い物のたびにカードを取り出すことが面倒な場所)

具体的には、アミューズメント施設やショッピングモールなどが考えられる。支払い手続きが簡素化すれば、レジなどに行列ができて顧客や利用者を待たせることもなくなるはずだ。

このほか、カードを忘れたことで、ポイントサービスや曜日限定割引セールといった各種付加価値サービスを受用できないといった機会損失を排除するのにも役立つ。今後、指静脈マネーはクローズされたマーケットにおいては特にセキュリティが高くなることから、利用金額が高い高額決済手段としての活用が特に期待されている。

【町田幸雄】

源氏物語千年紀

近畿地区短信

日本セルネット 加藤 順子

1008 年（寛弘 5 年）11 月 1 日、敦成親王の五十日の祝いの際、紫式部は藤原公任から「あなかしこ。このわたりに、わかむらさきやさぶらふ」と尋ねられ「源氏ににるべき人も見えたまはぬに、かの上はまいていかでものしたまはむと、聞きみたり」と紫式部日記に記しました。

この時からちょうど千年にあたる 2008 年を千年紀とし、源氏物語の舞台である京都・宇治・大津ではたくさんのイベントが催されています。その中心となっているミュージアムを紹介します。



<源氏物語>

11 世紀初頭の平安時代半ば、紫式部により書かれた作品で、今日では世界的な古典作品として、英仏独、他 20ヶ国以上の外国語に翻訳されて愛読されています。

「源氏物語」は女性によって初めて書かれた作品で、光源氏という主人公の人生を長編物語として描いてあります。物語は全部で 54 帖あり、光源氏が栄華の座につくまでとその晩年、その子薫の半生の三部構成からなっています。



京都文化博物館

京都の歴史と文化が模型や映像を使ってわかりやすく展示してあります。旧日本銀行支店の建物であり明治を代表する洋風建築として国の重要文化財に指定されています。

2008 年度はこの博物館が開館 20 周年になるのにあわせて、「特別展：源氏物語千年紀展（恋、千年の時空をこえて）」が開催されています。

源氏物語の世界（登場人物や名場面）が優れた美術作品（国宝・重要文化財・重要美術品約 40 点を含む総数約 170 点）により紹介されており、源氏物語の背景となった平安時代の文化や、源氏物語をめぐって現代まで積み重ねられてきた様々な営みが展覧されています。現在の源氏物語千年紀展は 6 月 8 日までですが、今年の間を通して「源氏物語」がテーマとなっています。

【これからの展示】

6/17～7/27 源氏香の世界展

8/1～9/21 永楽即全「源氏物語と五十四帖」と十七代永楽善五郎

9/26～10/24 雅の継承—源氏物語絵巻に挑む

11/1～12/21 源氏物語千年紀「匠の美と技」展



宇治市源氏物語ミュージアム

宇治十帖の舞台となった宇治市にある、源氏物語をテーマにした博物館です。

光源氏が都で華やかに活躍した世界を中心にした春の部屋、その息子の薫と孫の匂宮がくりひろげる宇治十帖をイメージした秋の部屋があります。

【お薦め】映像展示室では宇治十帖の「浮舟」の物語を上映しています。人形師のホリ・ヒロシさん作の人形が表現する源氏物語でうっとりするほどの妖艶さに、ひきこまれていきます。近寄り難かった古典文学が一気に身近に感じられ、他の場面も知りたくなります。

その他、源氏物語に関する書物がコミックまでそろっている図書室や喫茶室、ミュージアムショップもあります。

【案内】2008 年はこれからも源氏物語に関する企画が続々と展開されていきます。

★ゆかりの地 14ヶ所のスタンプラリーがついた源氏物語千年紀記念特別観光パスポートがあります。

★源氏物語ミュージアム、石山寺、滋賀県立近代美術館とを結ぶルートバスが運行中です。



皆さんの郷土を紹介して下さい。
郷土にまつわる歴史・風俗・見どころ…何でも結構です。
写真は 1～2 点にして下さい。
デジタルカメラの画素数は 200 万程度に調整して下さい。投稿をお待ちしています。

石山寺

紫式部はここで湖面に映る名月を見ながら物語の構想を練ったといわれています。現在「源氏夢回廊」が開催されています。



第 58 回日本医学検査学会・ケンサ EXPO'09 2009 年 7 月 31 日～8 月 1 日 横浜市

“ケンサ EXPO'09” テーマソング「いっこ、やっこ、ケンサ」



Theme song lyrics and illustrations of various characters like a girl, a boy, a sun, and a computer.



2009 年... 横浜でお逢いしましょう!

編集室

今年の学会は北海道でした。

そして、平成 20 年度表彰の会長賞は、北海道利尻島国保中央病院に勤務されている辰見光技師が受賞されました。ところで、北海道といえば皆さんは何を思い出しますか？

蟹、鰯、鮭、柳葉魚、雲丹...食べ物しか思い浮かびませんか。食べ物では<米>と<コーヒー>が有名です...

“それは違う”と思われるでしょうが、北海道の<米>は、ある事で北海道を日本 1 番にした立役者なのです。それは、自給率 201%を誇る食文化です< 2 位の県は 150% 程度>。しかし、失業率や経済状況では最悪です。北海道で開催された“食の祭典”から下り坂をコロコロ落ちていった感じがします。一般的には「政治」が悪いということでしょうか？



稚内から利尻島を望む

食べ物以外では何を思い出しますか？ 五稜郭、榎本武揚、土方歳三、屯田兵...今年丁度、榎本武揚が没して 100 年になります。榎本は、1854 年に東西及び北蝦夷地(現サハリン)の巡視に同行した時にはじめて北海道に渡りました。時に 19 歳...北の防衛線とする重点地区にまして“北の大地”の魅力に思いを寄せるようになり、1868 年の鳥羽伏見の戦いの際に 2000 の将兵を率いて五稜郭を基点とする北海道の独立を目指し共和国家を夢みました。翌年、新政府は、この榎本の嘆願を蹴り討伐に向かいました。そのとき、死を覚悟した榎本は、かつてオランダ留学で学んだ「海の国際公法」を新政府軍の黒田清隆に届けました。この時点で五稜郭は開城され、戦争は終焉になり、東京へ護送されます。

政府は榎本の才能と知識を認め、処刑はせず 1872 年に放免しました。そして、北海道の鉱山調査を命じました。これが基となり北海道は石炭王国として開花しました。

有能なあまり、次第に開拓使顧問との対立により、北海道を離れ、ロシア領土問題特命全権公使としてロシアへ赴任し「樺太千島交換条約」をまとめ調印へと導くこととなります。その後、大臣を歴任しながら北海道の開拓を行いました。73 歳の生涯を閉じたのは、1908 年 10 月 26 日のことでした。

これとは別に“北の守り”で、あまり知られていない歴史があります。

榎本武揚が活躍した 60 年も前の 1807 年、先ほどのロシア帝国は、鎖国体制の日本に対し通商を執拗に求めていました。そのためロシアは実行行使に出、略奪行為や放火を行いました。

幕府は松前藩とは別に西蝦夷地直轄を決め、寒さに強いはずの津軽藩士を“北の守り”として派遣しました。これによりロシアの脅威は減少したものの、寒さと食の守りが出来ず「水腫病」が藩士の半数以上を殺しました。

翌年、津軽に代わり会津藩士 622 名が宗谷(現稚内)へ赴任、そのうち 252 人が「利尻島」へ渡りました。このうちの 8 名は利尻島で没し、現在「会津藩士顕彰碑」とともに墓が建てられています。

ところで「水腫病」の薬は何でしょうか？

答えは「コーヒー」です。コーヒーは野菜不足を補えるものとして、1800 年当初からすでにオランダ医学が実証しており、日本でも理解されていました。1850 年代になり、やっと幕府はコーヒーを配給しましたが、飲めずに死んだ兵士が多かった事になります。

北海道には、当時からアイヌ民族(アイヌとは差別用語ではありません)アイヌ民族の方々、この名称を使用する運動を展開しています)が暮らしていましたが、その寒さをはじめとする越冬対策は北海道以外の藩士は知るよしもない知恵なのです。しかし、画一的に管理された集団(軍隊)は個人の知恵を活かせず、軍隊に所属しない個人の探検家である間宮林蔵や松浦武四郎などは立派に生き延びています。このような歴史から、

- ◆ 敵とはいえ、日本の将来を考え、有能な知識と頭脳を無駄にしなかった黒田清隆の知恵...
◆ 北海道の環境の厳しさとともに、どのような環境においても生き延び、国家に貢献するための個人の知恵...

が学びとれます。ところで、このレポートでの“自己申告”に生涯教育研修制度の点数を付与する知恵は...

次の学会は神奈川県ですが、すでに“ケンサ EXPO'09”のテーマソング「いっこ、やっこ、ケンサ」も完成しています。今回の学会のテーマである“道”がどこへ繋がるかを早く見たいものです。

“道...タオの世界”へ繋げる知恵があるでしょうか？

北の旅人として...こんなことを自習させていただいた学会でした。学会を担当された皆様、お疲れ様でした。

【高田鉄也】